



『From7 第60回 歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士 コーディネーターMeeting』

日時:平成26年9月3日(水) 19:15-21:00

場所:白鳥歯科インプラントセンター2F 研修室

演題

1.【上顎前歯部における前鼻棘下部からのブロック骨移植を行った長期症例の臨床的考察】

歯科医師 金子 亮(白鳥歯科インプラントセンター)

『上顎前歯欠損部におけるインプラント埋入術において、著しい骨吸収を伴う場合は骨造成術の併用が必要となります。骨造成術にはいくつかの方法が挙げられますが、当院では、上顎前歯部における骨造成は、術野と同一部位である前鼻棘下部からのブロック骨移植を行っています。そこで今回は、長期経過症例を、本法の適応症、臨床的考慮、術後の経過、考察などと共に報告させていただきます。』

2.【口腔内スキャナー iTero】

歯科技工士 前嶋 智洋(株式会社 AURA)

『デジタル技術の進化は著しく、CAD/CAMによる補綴は、一部保険適用にもなり成熟度は増している。印象 模型システムでのデジタル化も進んでいる。そして、北米を中心に多くの実績を持つ口腔内スキャナーiTero が今秋いよいよ発売となります。今回は iTero をはじめ口腔内スキャナーの特長をお伝えしたいと思います。』

3.【前歯部欠損補綴修復治療にたいして生物学的幅径及び治療期間中の患者 QOL を考慮して歯冠長延長術を行った1症例】

歯科医師 土屋 厚(栄光歯科医院)

『去る6月に行われました日本臨床歯周病学会年次大会で初めて発表する機会を頂きました。ガミースマイルの改善を望まれる患者に対し、審美的・生物学的配慮の上で骨レベルを設定し、歯肉弁の位置づけによって角化歯肉の温存を測りました。同時に術後に生じるブラケットライアングルやマージン部の露出など、治療期間中の審美障害を極力軽減できるように考慮して歯冠長延長術を行った症例の概要を報告させていただきます。何卒、ご批判やご指導を頂きたく存じます。』

4.【審美領域を含む多数歯欠損症例】

歯科医師 白鳥 清人(白鳥歯科インプラントセンター)

『審美領域は、機能と同時に高い審美性が要求されるが、特に多数歯の欠損では、その回復がより難しくなる。また、抜歯症例ではその抜歯のタイミングと抜歯窩への対応も重要である。今回は、上顎前歯部の抜歯後骨造成を行い全體的な治療を行った症例と抜歯と同時にソケットプリザベーションを行った前顎症例の報告をする。』